

## 【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 インプラントを用いた咬合再構成

演者名 関 喜英

日 付 2009年 3月 24日

### keywords

1. 咬合崩壊
2. プロビジョナルレストレーション
3. 咬合再構成

### 抄 録

昨年、上顎のプロビジョナルレストレーションまで発表した症例の続きで、今回はファイナルレストレーションまでの発表をさせていただきたいと思います。

患者は59歳の女性で、

7	43	4	7
765		4567	

が欠損してい

ることに加えて、不適切な顎位で不良補綴物による治療がなされていたために咬合崩壊している状態でした。まずは不良補綴物をプロビジョナルレストレーションに置き換え、下顎両側臼歯欠損部にはパーシャルデンチャーを装着し、咬耗した前歯部にはコンポジットレジンをビルドアップして顎位を模索し、

43	4	
65		46

にインプラントを植立しました。

さらに全顎的にプロビジョナルレストレーションを立ち上げて顎位を定め、ファイナルレストレーションにまで至りました。

正直なところ、初診時には、一体どう進めていけばいいのかよく分からなかったために試行錯誤しながら治療を進めていったことと、技術的にも未熟な点や詰めめ甘さが多々あったために、振り返ってみると反省材料ばかりです。

諸先生方の忌憚のないご意見を頂き、今後の診療に生かせれば幸いです。どうぞよろしく願いいたします。